

海洋活動に参加するみなさんへ

焼津青少年の家の海洋活動は、本物の海で行います。真剣に取り組み、活動を最後までやり抜く心と、仲間と力を合わせて、目的地まで船を漕ぐことのできる根気強さが必要です。安全な活動とするために、所員や艇長の説明や注意が聞けない人や、ふざけていたり不真面目な態度をとったりする人は活動することができない場合があります。とてもやりがいのある活動ですので、がんばって取り組みましょう。

1 服装と持ち物を整えましょう。

- ・ 運動靴（サンダルなど、かかとやつま先、足の甲が出ている物は不可）
- ・ くつ下（くるぶしがしっかりかくれる長さ）
- ・ 帽子（明るい色が好ましい）を着用する。（風に飛ばされないよう着用する。）
- ・ 汚れてもよい活動的な服装（赤い塗装がつく場合がある、スカート不可）
- ・ 雨天時に活動する場合には上下に分かれた雨カップ
（コートタイプは乗り降りの時、すそが引っかかって危険）
- ・ 本所出発前に、名札、腕時計は外す。

2 所員や海洋指導員の指示を守りましょう。特に、カヌーに乗るとき、降りるときが危険です。注意して安全に乗下船しましょう。

- ・ 乗下船時は落水事故が起こりやすいので慎重に行う。
- ・ 岸の方を向き、船に背を向けて後ろ向きに乗船する。（下船時も同様）
- ・ カヌーに乗ったら、必要なく立ち上がったたり、移動したりしない。
- ・ 接岸時は船べりをさわると挟まれて危険なので絶対に船べりをさわらない。
（左側の船べりをさわらない）〔下図〕

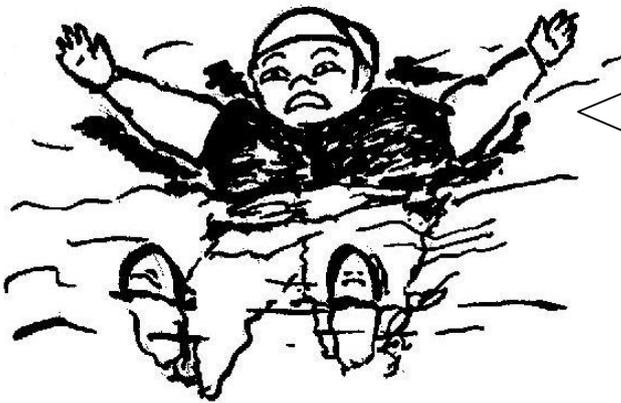
目立つように赤く塗ってあります。
ここには絶対にさわらないように注意！



- ・ パドルを1人1本ずつ持つ。体に沿わせて持ち運び、地面を突いたり、引きずったり、振り回したりしない。
- ・ パドルは所員及び艇長の指示に従って準備をする。勝手に水に入れたり漕いだりしない。

3 ライフジャケットは正しく着ましょう。

- ・ 海に落ちたときにぬげないように、おなかのベルトは十分に締め込む。
(体との間にこぶしが入る程度)
- ・ 万一、海に落ちてしまってもライフジャケットを正しく着ていれば体は浮くので、あお向きになり、つま先を水面に出すように浮かび、静かに救助を待つ。

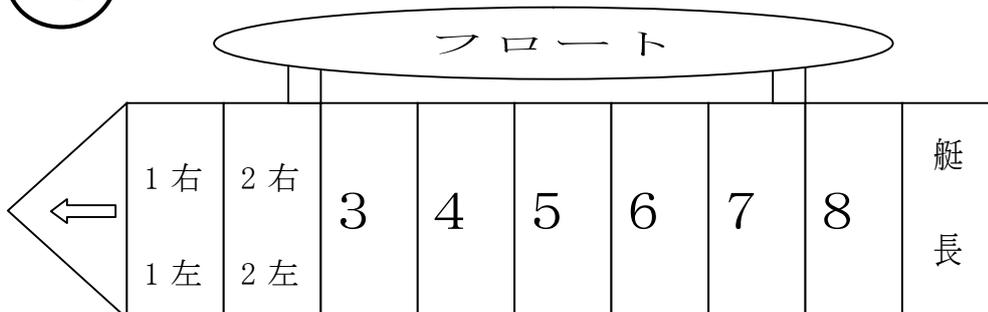


あばれたり、あわてて泳ごうとしたりするとかえって危険です。声を出すと口に水が入ります。静かに力を抜いて浮かんでいきましょう。

4 自分が乗船するカヌーの艇番号と乗船する席の番号を覚えておきましょう。

- ・ 点呼や整列が素早くでき、安全でスムーズな活動につながる。
- ・ 前後左右の参加者がお互いに確認できると、より安全でスムーズな活動になる。

例 1号艇



※二人がけの場合は、「1の右」「2の左」と覚えましょう。